

会社	会社名	日本郵船株式会社		
概要	従業員数	1583名(2016.3.31現在)	業種	海運業

## 1. ねらい

育児や介護など時間的な制約がある社員が、自身のキャリアを諦めることなく、生き生きと働くことができる環境作り、また時間的制約がなくとも、私生活の充実が仕事のパフォーマンスにも影響するという考えのもと、仕事と私生活のバランスをとりながら、社員一人一人が持てる力を最大限に発揮できるような仕組み作りを推進しています。

## 2. 施策内容

### 「働き方・休み方改革」

#### 1. 「OLIVE Project」

2015年7月1日より、労働時間削減のための施策として「早出早帰り勤務」(OLIVE Project)を導入し、大きく下記3つの取り組みを進めています。このProjectは、単に労働時間を削減することだけが目的ではなく、限られた時間を最大限有効活用し、今までよりも短時間でパフォーマンスをあげ、余った時間は今まで取り組むことができなかつた仕事や余暇に使うなど、生産性の向上、社員のモチベーション向上を目的の根幹にしています。社員それぞれで事情が異なるため、一律強制という形ではなく、あくまでも社員の自主性を促す形で取り組んでいます。

- (1). 深夜・休日勤務の原則禁止 (22時以降の深夜労働、休日労働は原則禁止。やむを得ない場合は、事前申請が必要)
- (2). 夜の居残り残業から朝型勤務への移行 (早朝の集中できる時間帯で業務を行い、その分早く帰るといった働き方を推奨。朝食無償提供、8時45分までは集中タイムとして上司の声掛け原則禁止など、早朝勤務に取り組むしやすい環境作りをしています。)
- (3). 週2回の早帰りデーの設置 (今までは週1日だけでしたが、早帰りへの意識を高めてもらうため、週2回に変更。また17時15分と18時半に2回早帰り放送を流しています。)

#### 2. 労使一体となった取組み (継続)

会社と労働組合にて構成されるワークライフバランス推進委員会にて、社員の働き甲斐を高める施策を共に考え実施しています。代表的なものは以下の通りです。

##### (1). 時間外労働と休暇取得日数の実績モニタリング

時間外労働実績や休暇取得日数等をモニターし、残業が多い部署の社員/上長へのヒアリングを実施。

##### (2). 社内への情報発信

社内制度の理解・利用推進を主目的としたワークライフバランス通信を社員へ発信しています。また定期的に役員インタビューを行い、実際の経験に基づく業務効率化のためのヒント等も発信しています。

### 「仕事と介護の両立支援」に関する施策

・実際に介護に関わっている社員に加え、今後介護に関わる可能性がある社員、興味のある社員を対象に、外部より講師を招き介護の実態を学ぶ介護セミナーを実施しています (2014年, 2015年)。

## 3. 取組実績・効果

・OLIVE Projectを開始した2015年度の年平均法定時間外労働は、2014年度に比べ凡そ1時間減少。また、深夜退館する従業員も大幅に減少しています。  
 ・社員からは「9時前には電話もなく業務に集中できる。」「夜に残業するよりも朝残業する方が前向きな気分になる。」など、早朝勤務に関する前向きなメッセージが多数寄せられています。

・介護セミナーの参加者からは、「いざ自分が介護となった際に、どのような制度があるのかが分かり安心した。」「同じような悩みをもっている人がいたことに安心した。社内ネットワークができたことも良かった」といった前向きな声が多数寄せられました。